

発行日 2021-11-22

改訂日 2021-11-18

改定番号 3

## 1. 化学品及び会社情報

製品名 ASA Red  
製品コード SDS-850094 JA J RED  
PN（部品番号） 311-21390 333-60503 355-02144  
登録番号 情報なし

### 安全データシートの供給者の詳細

#### 輸入者

丸紅情報システムズ株式会社  
製造ソリューション事業本部・デザインファクトリー部  
〒169-0072  
東京都新宿区大久保3丁目8番2号 新宿ガーデンタワー14階  
電話：03-4243-4130  
Fax：03-4243-4197

### 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 03-4243-4130  
電子メールアドレス str\_support@marubeni-sys.com

### 化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 3D印刷  
推奨されない用途 情報なし。

## 2. 危険有害性の要約

### 化学物質又は混合物の区別

世界調和システム（GHS）による危険物有害性の物質でも混合物でもない

### GHSラベル要素

#### 危険有害性情報

世界調和システム（GHS）による危険物有害性の物質でも混合物でもない

#### 安全対策

- 該当しない

#### 応急措置

- 該当しない

#### 保管

- 該当しない

**廃棄**

- 該当しない

**他の危険有害性**

通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、換気および排気が必要になる。さらなる加工処理中、取扱い中、またはその他の手段により微粒子が発生すると、空気中で可燃性粉じん濃度が形成されるおそれがある。詳細については項目7を参照。詳細については項目8を参照。さらなる加工処理中、取扱い中、またはその他の手段により微粒子が発生すると、空気中で可燃性粉じん濃度が形成されるおそれがある。詳細については項目7を参照。詳細については項目8を参照。通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、換気および排気が必要になる。

**3. 組成及び成分情報**

化学物質・混合物の区別                      混合物

**化学物質排出把握管理促進法(PRTR)**

該当しない

**労働安全衛生法****通知対象物質**

該当しない

**表示対象物質**

該当しない

**毒物及び劇物取締法**

該当しない

**4. 応急措置**

吸入した場合	医師の手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	溶融残渣に触れたときは、皮膚を石鹼と水で洗うこと。
眼に入った場合	上下のまぶた（瞼）を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。
飲み込んだ場合	水で口をすすぎ、その後多量の水を飲むこと。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な溶融物質は熱傷を引き起こすおそれがある。知見なし。 徴候症状	
医師に対する特別な注意事項	症状に応じて治療すること。

**5. 火災時の措置**

適切な消火剤	泡消火剤。 水。 二酸化炭素（CO2）。 粉末消火剤。 耐アルコール泡消火剤。
使ってはならない消火剤	知見なし。
特有の危険有害性	知見なし。
特有の消火方法	水噴霧でドラムを冷却すること。

**消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置** 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人用保護具を使用すること。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	滑る危険有害性を防ぐために掃き取る。 指定された個人保護具を使用すること。 皮膚および眼との接触を避ける。 すべての着火源を排除すること。 酸と接触すると非常に有毒なガスを放出する。
緊急対応を行う者のための保護具	8項で推奨されている個人用保護具を着用すること。
環境に対する注意事項	地上水又は下水施設に流さないこと。 水路に侵入させないこと。
封じ込め方法	製品の回収後、区域を水で洗い流すこと。 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。
浄化方法	回収して適切に表示された容器に移すこと。
二次災害の防止策	産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。 じん雲を防止すること。 閉鎖空間における粉じんの蓄積を防ぐこと。 更なる加工、取り扱い、又は他の手段の間に微粒子が生じた場合には、空気中で爆発性の粉じん濃度を生じるおそれがある。 すべての着火源を排除すること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

安全取扱注意事項	熔融線維を取り扱うときは、皮膚および眼に触れないようにすること。 さらなる加工処理中、取扱い中、またはその他の手段により微粒子が発生すると、空気中で可燃性粉じん濃度が形成されるおそれがある。 呼吸用保護具を使用すること。 個人用保護具を使用すること。
----------	---

### 保管

安全な保管条件	容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。
---------	-------------------------------

## 8. ばく露防止及び保護措置

注：	通常の使用条件では危険有害性は予想されない。 粉じん粒子の発生を避けること。
許容濃度	この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界が

設定された危険有害物質を一切含んでいない。

#### 生物学的職業性ばく露限界値

供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害性物質を一切含んでいない

#### 設備対策

さらなる加工処理中に粉じんが発生する場合には、排気式換気を設けること。

#### 環境ばく露防止

情報なし。

#### 保護具

##### 呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。粉じんの発生及び蓄積を最小限にすること。

##### 眼、顔面の保護具

溶融物質を取り扱う際は、フェイスシールドの使用が推奨される。ゴーグル。

##### 皮膚及び身体保護具

高温の物質を取り扱うときは、耐熱手袋を使用すること。不浸透性衣類。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 物理的及び化学的性質に関する情報

#### 外観

モノフィラメント

##### 物理状態

固体

##### 色

特異臭

##### 臭い

データなし

##### 臭いのしきい値

情報なし

#### 特性

#### 値

#### 備考・方法

##### 融点／凝固点

情報なし

##### 沸点、初留点及び沸騰範囲

情報なし

##### 可燃性

情報なし

##### 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界

情報なし

##### 燃焼上限:

##### 可燃性下限:

##### 引火点

>380 °C / °F

##### 蒸発速度

情報なし

##### 自然発火点

情報なし

##### 分解温度

##### pH

情報なし

##### 粘度

##### 動粘性率

情報なし

##### 動的粘度

情報なし

##### 水への溶解度

水に不溶性

##### 溶解度

情報なし

##### n-オクタノール／水分配係数 (log 値)

情報なし

##### 蒸気圧

情報なし

##### 密度及び／又は比重

##### 相対密度

1.06 - 1.12

##### 蒸気濃度

情報なし

##### かさ密度

情報なし

相対ガス密度	情報なし
粒子特性	
粒径	該当しない
粒径分布	該当しない

その他の情報

爆発性	情報なし
酸化特性	情報なし
VOC含有率 (%)	殆どなし .?

**10：安定性及び反応性**

反応性	水と激しく反応する。
化学的安定性	通常の条件下で安定。
爆発データ	
機械的衝撃に対する感度	なし
静電放電に対する感度	なし
危険有害反応可能性	通常のプロセスではない。
避けるべき条件	過剰な熱。熱分解を防ぐために、過熱しないこと。
混触危険物質	酸化剤。強塩基。
危険有害な分解生成物	燃焼すると不快かつ毒性のフェームを発生する。一酸化炭素。二酸化炭素 (CO2)。アルデヒド。
反応性	推奨される保管条件下で安定。通常の使用条件下ではない。水と激しく反応する。
化学的安定性	通常の条件下で安定。
危険有害反応可能性	通常のプロセスではない。
避けるべき条件	過剰な熱。熱分解を防ぐために、過熱しないこと。
混触危険物質	酸化剤。強塩基。
危険有害な分解生成物	燃焼すると不快かつ毒性のフェームを発生する。一酸化炭素。二酸化炭素 (CO2)。アルデヒド。
爆発データ	
静電放電に対する感度	なし。
機械的衝撃に対する感度	なし。

**11. 有害性情報**急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報  
情報なし

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている

混合物の 2.99 %は急性経口毒性が未知の成分から成る  
混合物の 2.99 %は急性経皮毒性が未知の成分から成る  
混合物の 2.99 %は急性吸入毒性（ガス）が未知の成分から成る  
混合物の 2.99 %は急性吸入毒性（蒸気）が未知の成分から成る  
混合物の 2.99 %は急性吸入毒性（粉じん/ミスト）が未知の成分から成る

症状 知見なし。

#### 製品情報

経口 この化学物質または混合物の特定試験データはない。  
吸入 この化学物質または混合物の特定試験データはない。  
皮膚接触 この化学物質または混合物の特定試験データはない。  
眼接触 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

#### 凡例

IARC（国際癌研究機関）

グループ2B- ヒトに対する発がん性が疑われる

## 12. 環境影響情報

生態毒性

残留性・分解性 情報なし。

生体蓄積性	この製品のデータはない。
土壌中の移動性	情報なし。
オゾン層への有害性	分類できない。利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
他の有害影響	情報なし。

### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。
汚染容器及び包装	該当しない。

### 14. 輸送上の注意

<u>IMDG</u>	規制対象外
MARPOL 73/78付 属 書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質 情報なし	
<u>ADR</u>	規制対象外
<u>IATA</u>	規制対象外

### 15. 適用法令

<u>国内規制</u>
化学物質排出把握管理促進法(PRTR)
該当しない
労働安全衛生法
通知対象物質
該当しない
毒物及び劇物取締法
該当しない
消防法 :
該当しない
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 (化審法)
該当しない
海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律
該当しない

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

国際インベントリー

TSCA	適合する
DSL/NDL	適合する
化審法インベントリ	適合する
IECSC	適合する
KECL	適合する
PICCS	適合する
AIIC	適合する

凡例：

TSCA - 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー  
 DSL/NDL - カナダ国内物質リスト/非国内物質リスト  
 ENCS - 化審法既存物質  
 IECSC - 中国現有化学物質名録  
 KECL - 韓国既存化学物質目録  
 PICCS - フィリピン化学品・化学物質インベントリー  
 AIIC - オーストラリア既存工業化学物質インベントリ

## 16. その他の情報

改訂日 2021-11-18

改訂記録 SDSの余白にある記号(\*)は、その行が改訂されたことを示す。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

消防法： 該当しない。

凡例 8： ばく露防止及び保護措置

TWA	TWA (時間加重平均)	天井値	最大限界値
*	皮膚兆候	+	感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献およびデータ源

環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR)  
 米国環境保護庁ChemViewデータベース  
 欧州化学品局  
 欧州食品安全機関 (EFSA)  
 EPA (環境保護庁)  
 急性ばく露ガイドラインレベル (AEGL)  
 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法  
 米国環境保護庁高生産量化学物質  
 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)  
 危険有害性物質データベース  
 国際統一化学情報データベース (IUCLID)  
 製品評価技術基盤機構 (NITE)  
 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構 (NICNAS)  
 NIOSH (米国労働安全衛生研究所)  
 米国医学図書館ChemID Plus (NLM CIP)  
 National Library of Medicine's PubMed database (NLM PUBMED)  
 米国国家毒性プログラム (NTP)  
 ニュージーランド化学物質分類・情報データベース (CCID)  
 経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書  
 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム



経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット  
世界保健機構

### **免責事項**

この安全データシートに記載されている情報は、サードパーティの情報源から得られたものです。情報は発行日時点では正確であると信じられていますが、情報の正確性または完全性、あるいは本書で言及されている材料、物質、または混合物（総称して、「材料」）の品質または仕様に関して、いかなる表明または保証も行いません。この情報は、資料の安全な取り扱い、使用、消費、処理、保管、輸送、廃棄、および放出に関するガイドラインとしてのみ提供されています。情報はその目的上不十分である可能性があり、ユーザーは提供された情報に依存してはなりません。この情報は、本書に明示的に記載されている以外の材料または処理で組み合わされた材料には適用されない場合があります。当社は、この安全データシートに含まれる情報への依拠に起因または結果として生じる損害、損失、または費用を含むがこれらに限定されない、いかなる種類の責任についても負わないものとします。

© 2017-2021 Stratasy Ltd. 内部使用のみを目的として無制限の紙/電子コピーを作成するライセンスを付与します。この安全データシートまたはそのセクションは、Stratasy Ltd.らの事前の書面による同意なしに、公開、複製、変更、または第三者に配布することはできません。。

このSDSはJIS Z 7253 : 2012およびJIS Z 7252 : 2014(日本)に準拠しています。

**安全データシートのおわり**